

2018年7月25日

第6回研究会

五月女光弘さんの講演

日本の憲法はアフリカにどういう影響をあたえ、それがのちに日本にどうもどってくるのかについてお話ししたいということからはじまりました。

1957年にガーナ共和国がアフリカで最初の独立国でした。1960年には17カ国が独立しました。ガーナ共和国では国民総生産は一人あたり600ドルでした。この時の日本は500ドルでアフリカの国より貧しかったのです。1964年、日本が東京オリンピックを開催しました。アジアで初めてのオリンピックを開催したのです。東海道新幹線、東名高速道路と近代的になり、あのガーナ共和国より貧しかった日本が世界に冠たる先進国なったのです。そのことがアフリカの励ましになったのです。なぜかと関心を持たれたのでした。新しい国が独立した時には必ず国旗や憲法（国家基本法）のことが考えられるものです。首相たちと話すとき彼らは日本に期待を持っていました。日本が励みになっていました。独立した国は日本国憲法を勉強して日本のようになりたいと憲法を参考にしていました。13カ国に日本国憲法の条文が入っているのです。ガーナ、諸外国との平和共存。ナムビア、ウガンダ、モザンビーク、非同盟政策。ナムビア、南アフリカ、国際紛争の平和的解決。南アフリカ、ザンビア、シビリアンコントロール。ナイジェリア、ジブチ、平和政策推進。スーダン、内政不干渉。レソト、非同盟・中立。などです。もう彼らは戦争をしたくないのです。マラウイ、ウガンダの大統領と会見したとき、どういう国づくりをしたいかと聞いた時、「我々は貧しい。食料も不十分で医薬品もない。学校もつukれない。ましてや工場もつukれない。」「お金がない。それなのに元宗主国が軍隊をつくってそこに武器を購入するように圧力をかけてくる。武器を買うお金がないのに無理矢理買わされてしまう。私はもう戦争なんかしたくない。だから戦争しないような国をつくりたい」と言っていました。その参考になるのが日本の憲法なのです。

ジャイカの海外青年協力隊の訓練所の教官をしています。福島の二本松におとといまでいました。授業は200名いて一番人気はマラウイでした。なぜか？1つに非常に平和な国であるからです。次にマラウイは日本にたいして期待と好感があるのです。なぜ期待と好感があるかと言えば国が出来たときまっさき

に援助したのが日本だったのです。しかも教育隊で高レベルの人材で技術者・建築士・医者・薬剤師・スポーツ人などで一流な人たちが国づくりをやったのです。日本が期待されるのは現地で雇用をつくっているからです。日本は指導者が指導し雇用をつくり、その後引き上げます。(雇用を生まない援助をする国があります、何千人も連れてくる援助する国があるが日本は違う) だから尊敬されるのだと言うことを知っていただきたいのです。アジアでもラオス、カンボジア、ネパールでも尊敬されているのです。日本はその国を発展させて友好的な関係を作っていく、このことは軍事力で守ることよりも大事なことです。日本が非常に平和的な国家であり他国に対して発展のために努力をしてくれる国であると思ってくれている国が非常に多いことは事実です。このことを大事にして頂きたいと思っています。日本では、アジアの国々は日本が侵略して迷惑をかけて日本を嫌っていると思うかもしれないけれども、そうではなくてアジアの人は日本が大好きなのです。日本人はもっと自信ももっていいのではないのでしょうか、傲慢になるのではなく、模範になるように素晴らしいものを守って行ってほしいと思います。

また日本は他国から助けられた国であることを知ってほしいのです。ユニセフという組織がありますが初代事務局長のモーリス・ペイトさんが日本やドイツの子ども達を助けたいと多くの反対があったにもかかわらず連合国の敵国である日本とドイツの子どものために周りを説得して飢えや病気から助けましょうと支援してくれたのです。1949年に支援を開始して当時のお金で65億円、現在では2000億円の無償援助を行って1500万人の小中学校生徒を飢えや感染症から救ったのです。日本は助けてもらった恩義でユニセフに資金を援助していて金額では第一で二位がドイツで大きな金額を援助しています。そのおかげで人道支援の功績で1965年にユニセフはノーベル平和賞を受賞しています。日本は助けられた感謝を忘れてはいけません。フィラデルフィアでは、学院でランチの時だれも食べてないのはどうしたのか。ランチを食べたつもりで食べないで25セントを日本のために募金して送ってくれたとこともあるのです。公務員の初任給の5分の1にもあたる金額を日本の子どものために送ってくれて助けてくれた人たちもいるのです。

日本はいろいろな国から助けられているのです。今度は日本が恩返しをする時です。恩返しの仕方は、日本は経済協力もそうだけれど、理念として日本という国には平和な国家として絶対に戦争しない国の姿をみせていくことが発展

途上国のはげみとなるのです。このことは間違いないことです。アジア・アフリカのたくさんの国に行きましたが、みんなそう言っています。そう言う意味で日本は戦後ずっと良いことをしているのです。それをずっと続けなければいけないのです。それをくずしてはならないのです。(ここで幣原喜重郎さんに触れられました。) 日本国憲法は日本人たちによってつくられ、日本人たちによって守られてきたのです。そして世界の国から参考にされて日本の国のようになりたいとあこがれに思われています。戦争はこりごりだとアフリカの国々の人はみんな言っています。アジアの国々の人も言っています。戦争なんかしたくない。戦争しない国を目指したいと。だから日本と言う国はあこがれの国なのです。だから日本はがんばらなくてはいけません (*^_^*) 日本は国旗が輝く太陽でありライジング・サンであり憲法も輝く憲法なのです。日本人は憲法を守っていくことが大事であるのだと思っています。

と言うようなお話しでした。